

## 内外の交流を支える ネットワークの構築とモビリティの向上

広域分散型社会や、積雪寒冷な気候に対応した道内外の拠点を結ぶ交通ネットワークを構築し、活力ある地域経済社会の基盤を整備することが必要とされています。



北海道横断自動車道の整備(里音別川橋)

## 自然災害に備えた、 道路交通事故等のない社会を目指した **安全・安心な地域づくり**



釧路港東港区 耐震強化岸壁の整備

安全・安心の確保なくして国民の生活や経済社会の安定は図れません。地震、水害等から国民の生命や財産を守ること、交通の安全確保など、国の最も重要な責務の一つであるとともに、食料供給基地である東北北海道の経済社会活動の基盤となります。

# ◆◆高速交通ネットワークの形成◆◆

## 規格の高い道路の整備

広域分散型社会であり、自動車交通に大きく依存している北海道において、国道などの幹線道路は、農水産品の輸送や産業・観光・生活・医療を支える重要な基盤となっているところです。

なかでも、現在、整備が進められている北海道横断自動車道(道東道)は、より安全・安心・快適に移動できる交通ネットワークが形成されることが期待されています。

## POINT

### 道東道の整備効果とは…

札幌や帯広との移動時間を大幅に短縮

カーブや勾配が緩やかで、かつ、安全に運転しやすくなり、事故発生確率が低下

現在の輸送路となっている国道38号の問題点を解決

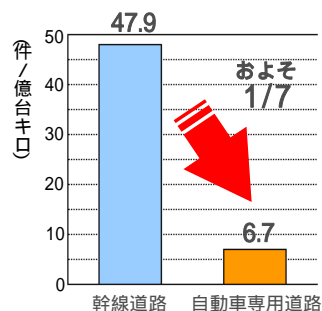
## 所要時間の比較



北海道開発局資料

## 幹線道路と自動車専用道路の事故率比較

[死傷事故率の違い]

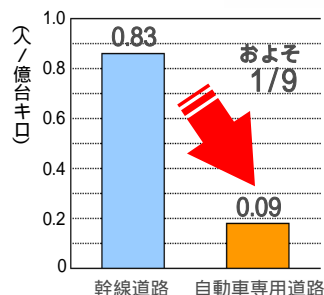


死傷事故率とは、1万台の車が1万km走行した場合に起こる死傷事故件数

$$\text{死傷事故率} = \frac{\text{死傷事故件数}}{\text{自動車走行台キロ}}$$

自動車専用道路：高速自動車国道（一般国道の自動車専用道路を含む）  
 幹線道路：一般国道、道道

[交通事故死者率の違い]



交通事故死者率とは、1万台の車が1万km走行した場合の死者数

$$\text{交通事故死者率} = \frac{\text{死者数}}{\text{自動車走行台キロ}}$$

## 国道38号の通行止め履歴



資料：北海道開発局調べ

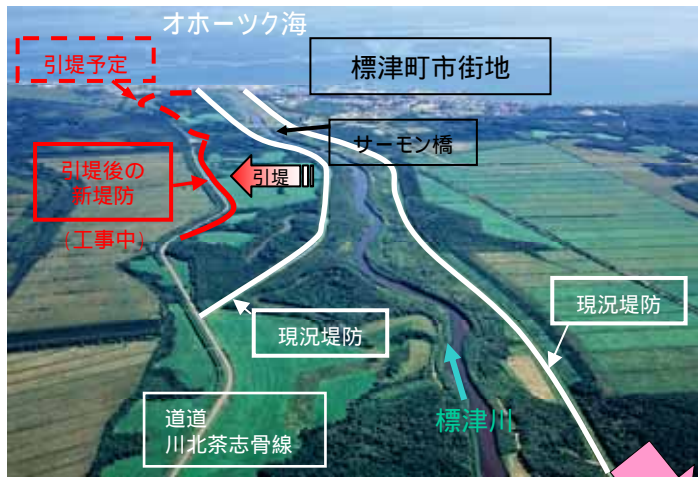
# ◆◆自然災害に備える防災対策◆◆

## 必要な流下能力の確保

現在の標津川では、戦後最大規模(昭和22年9月)に相当する洪水の流量を安全に流下させることが出来ません。

そのため、標津川下流部では、堤防と堤防の間を<sup>ひきいて</sup>広げる引堤事業を進めています。

引堤により、現在の川幅が広がり、川の水を流す面積が増すことで、洪水を安全に流下させることが可能になります。



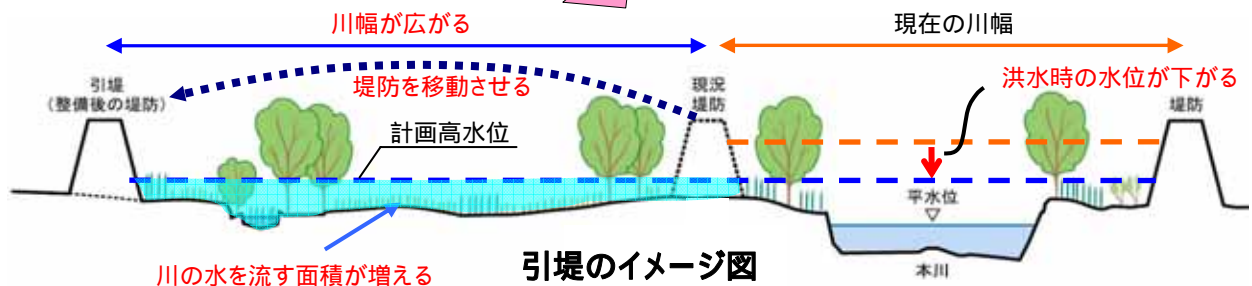
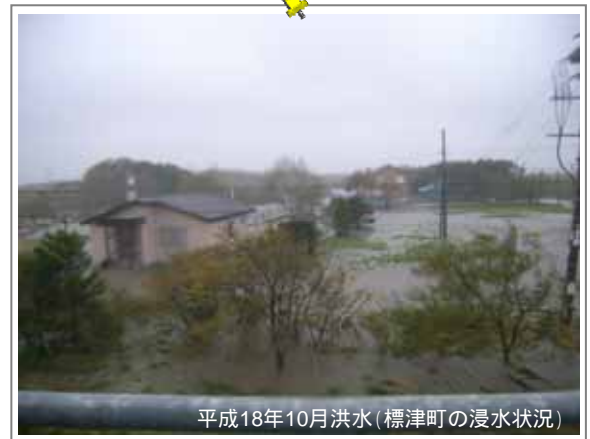
- 標津左岸地区 引堤事業概要図 -

## POINT

### 豪雨・暴風雪対策とは…

引堤により、洪水を流すための断面積(河積)の確保

防風柵や防風林の設置により、地吹雪による視程障害を低減



引堤のイメージ図



平成20年4月1日 暴風雪による通行止め状況  
(赤い路線が通行止めになった国道)

## 冬期交通の信頼性向上

平成20年4月1日の低気圧による暴風雪では、釧路開発建設部が管理している国道のうち、約3割が全面通行止めとなりました。

防雪柵や防雪林の設置など、一年を通して安全・安心に通行できる自然災害に強い道路環境の整備を進めています。



一般国道44号の防雪林(浜中町)

# 交通安全対策

## 安全な道路交通環境の整備

国道44号入江交差点は、死傷事故率が1,099件/億台キロ(平成16～19年の4年平均値)で、釧路・根室管内での交通事故最多発生区間であり、そのうち追突件数が半数以上を占めています。このため、交差点の改良を実施しています。



【凡例】

- (赤): 追突
- (桃): 右左折時衝突
- (桃): その他
- (桃): 交差点範囲



自動車1億台が走行したときに、交差点範囲で死傷事故の発生する割合。

## POINT

### 期待される対策効果とは…

合流部での追突事故の減少

必要な右折専用車線の整備による交通の円滑化

自動車1億台が走行したときに、交差点範囲で死傷事故の発生する割合。

## 現状



## 改良後



一時停止をせずに、スムーズに走れるようになります。

交差点での一時停止をなくして、1車線同士の合流形式になります。これにより追突事故が減り、安全な交差点になります。

根室側からの左折導流路が1車線となります。

歩行者に注意して走行しましょう。

道道からの直進車線が1車線となります。

直進車はあらかじめ右側に寄って下さい。

【編集・発行】

北海道開発局 釧路開発建設部 広報官

〒085-8551 釧路市幸町10丁目3番地 釧路地方合同庁舎

TEL 0154(24)7354 FAX 0154(24)7100

釧路開発建設部ホームページ: <http://www.ks.hkd.mlit.go.jp/>

平成22年 1月29日発行